



セミダブルのベッドが配された広めのコーナールーム。



テーマは千利休の茶室

2月オープン予定!

『ホテル・ゼン・トーキョー』

1泊6000円～

DATA

①東京都中央区日本橋人形町1-5-8
www.hotelzen.jp/

地下鉄人形町駅から徒歩30秒。客室タイプは茶室カプセルなど5種あり、女性専用フロアも用意。共用スペースは約300㎡の広さの和の空間で、ワーキングスペースとカフェ&バーを兼ねる。ベッド数は78。

1時間から仮眠できる!ランナー向けサービスも

DATA

①東京都千代田区
神田錦町3-11-15
☎03-5217-0017

ランニングシューズの無料レンタルサービスもあり。



『ナインアワーズ竹橋』

1泊4900円～

仮眠やシャワーだけの利用も可能。温浴効果のあるシャワーでリフレッシュできる。皇居ランナー向けにランステーションを併設。カプセル数は129。仮眠は1時間1000円～(利用時間13:00～21:00)。シャワー700円。

Photo: Nacasa & Partners

渋谷の中心でアートに泊まる

DATA

①東京都渋谷区
神南1-20-13
☎03-6824-9410

コワーキングスペースやラウンジ、セルフキッチンもあり、朝食も好評。

『ザ ミレニアルズ渋谷』

1泊6000円前後～

渋谷駅から徒歩数分。プロジェクトにかかわるスタッフ全員がミレニアル世代で、価格にこだわらず利便性や体験を重視する同世代のために作った施設。コンセプトは「未来が見える宿泊体験」。ポッド数は120。



次の流行まるかじり

TREND WATCHING

#HOTEL

iPodで操作、ランナー向けサービスetc.

居心地サイコー! 超進化形 カプセルホテル

外国人観光客の急増や東京五輪を控え、様々な形態の宿泊施設が続々オープン。そんな中、カプセルホテルは今や狭い空間に身を横たえるだけの存在ではなく、デザインマインドあふれる快適な空間に変貌している。

「オリジナルのポッド(カプセル)や高級ブランドの専用ベッドなどで狭い空間を最大限に充実させたものや、高機能シャワーや専用ラウンジといった付加価値をつけているところなども増えています」と、話すのは「週刊ホテルレス」副編集長の森下智美さん。

今年2月に東京・日本橋に開業予定の「ホテル・ゼン・トーキョー」は、日本のミニマリズムデザインの影響で、日本のミニマルな宿舎施設であるカプセルホテルを掛け合わせた新ブランド。天井高は2.2mありシモンズ社製ベッドを採用したラグジュアリーな空間だ。また「ナインアワーズ」は、18年に東京・竹橋、赤坂、蒲田、浅草そして新大阪駅近と、新たに5店舗を開業。「シャワー」「睡眠」「身支度」という3つの行動に特化し、宿泊だけでなく1時間からの仮眠、シャワーのみの利用も可能だ。その

それぞれの立地に合わせてランステーションやカフェなどを設け、その街で働く人のニーズに対応する。「ザ ミレニアルズ渋谷」は、その名の通りミレニアル世代向けに特化。「スマートポッド」と呼ばれる、独自開発した多機能型宿泊ユニットには、チェックイン時に渡される番号ひとつで操作可能なリクライニングベッドや、80インチプロジェクター(一部の客室のみ)などを装備。今後は海外でも展開する予定だ。

次の出張は最新のカプセルホテルで贅沢をしてみたいか?